

しあわせ つくる 晴れのまち みやま

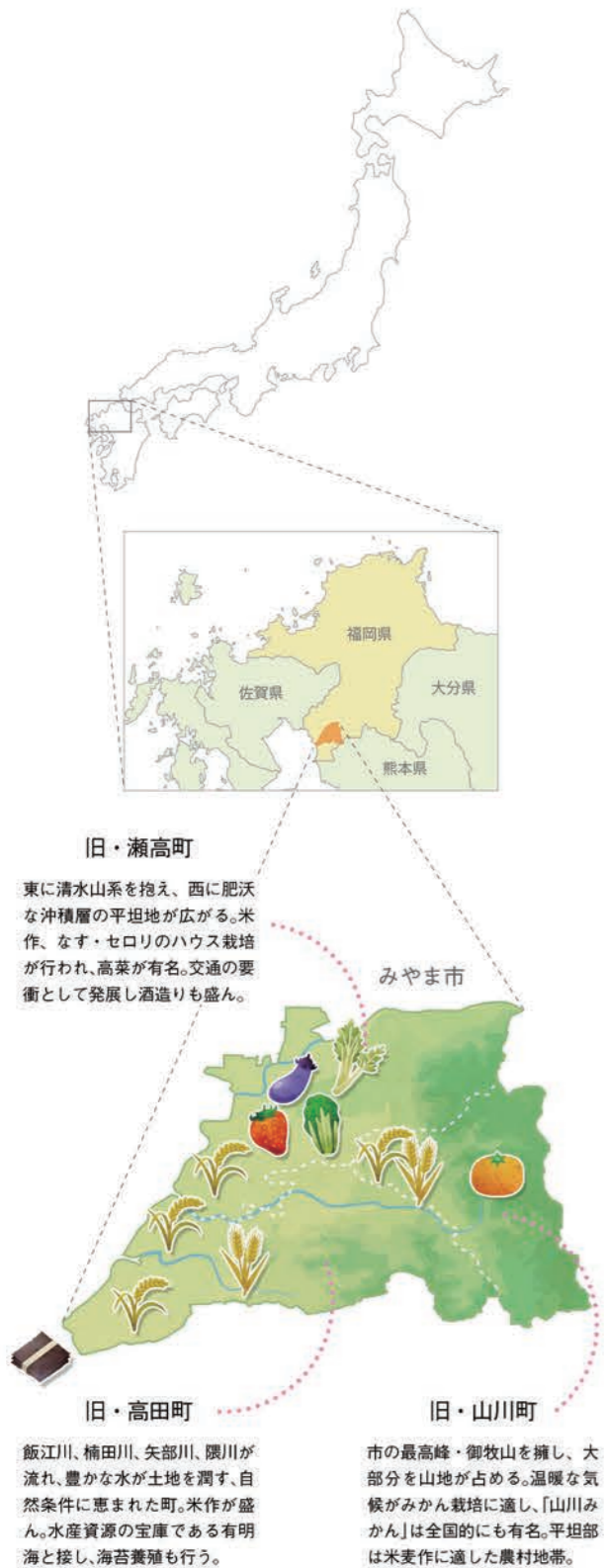
どこまでも続く大きな青空に
さんさんと降り注ぐ太陽の光。
豊かな水が大地を潤し
のどかに広がる田園風景。
輝く有明海は宝の海。

自信をもっておすすめできる
新鮮で美味しい農産物の数々や
職人技がきらりと光る特産品。

歴史と伝統文化の薫り高く
緑あふれる自然もいっぱい。

交通アクセスも抜群で
環境に優しいエコな取り組みも自慢。

そんな数え切れないほど
たくさんの「幸」に恵まれた
みやま市のことをご紹介します。



みやまって
どんなまち？

みやま市は、平成19年1月29日に山門郡の瀬高町と山川町、そして三池郡の高田町の3町が合併して誕生したまちです。

福岡県の南部に位置し、一部が熊本県と接しています。東部には御牧山、清水山などの山々が連なり、中心部には広大な筑後平野が、西部には有明海の干拓によって開かれた低地が広がっています。全体として平坦な田園地帯で、空から見ると、いくつもの田畑が連なり、さながら緑のパッチワークのようです。

面積は、福岡県内に60ある市町村の内、16番目の広さの105.21km²。森林面積が20%と比較的小さく、耕地が40%と大きいことが特徴です。

温暖な気候で日照時間も長く、とても恵まれた環境。自然が豊かで、季節ごとに移り変わる美しい風景を楽しむことができます。

市の北東から南西へ向けて流れる一級河川の矢部川を中心に、支流の飯江川、大根川などがあり、これらの河川がもたらす肥沃な土壌と豊富な水の恵みによって、農業のまちとして発展してきました。

交通アクセスは、JR鹿児島本線や西鉄大牟田線の鉄道路線が乗り入れ、5つの駅があるほか、九州新幹線の「筑後船小屋駅」もほど近く、

有明海沿岸の市町を結ぶ有明海沿岸道路が走り、九州を縦断する九州自動車道の「みやま柳川IC」があるなど、大変充実しています。福岡市、熊本市、佐賀市まで50分圏内と、都市部への通勤通学やショッピングなどにも大変便利で、子育て世代やセカンドライフの移住・定住先としても暮らしやすいところです。また、立地条件の良さを生かし、企業誘致も積極的に推進中です。

平成21年には「あいさつ日本一宣言都市」を掲げました。元気にあいさつを交わすことで、人のぬくもりを感じられる明るい社会になることを目指して、市全体であいさつ運動に取り組んでいます。

